

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月2日

東

上場会社名 オーナンバ株式会社
コード番号 5816

上場取引所

URL <http://www.onamba.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋忠敏

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 宮本敦浩 (TEL) 06-6976-6101

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	33,544	5.9	2,044	32.9	2,206	21.7	1,633	38.6
2022年12月期第3四半期	31,686	14.8	1,538	67.3	1,813	66.0	1,178	40.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,777百万円(△2.4%) 2022年12月期第3四半期 2,846百万円(30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	134.06	—
2022年12月期第3四半期	96.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	38,209	23,744	60.5
2022年12月期	36,874	21,185	55.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 23,099百万円 2022年12月期 20,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	8.00	—	16.00	24.00
2023年12月期	—	14.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	3.1	2,400	△5.1	2,500	△14.2	1,800	△15.6	147.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 3 Q	12,558,251株	2022年12月期	12,558,251株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	371,518株	2022年12月期	371,489株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 3 Q	12,186,746株	2022年12月期 3 Q	12,186,802株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1 当第3四半期における業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）における当社グループの経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響、原材料価格の高騰、加えてウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格や為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続きました。なお、これらの影響は今後も一定期間は継続することが懸念されております。

このような状況の下、当社グループでは、当期を最終年度とする中期経営計画「PROGRESS 2023」における経営基本戦略を着実に推進し、目標達成に向けて各種施策に取り組んでおります。また、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、日本、中国、アメリカなど8ヶ国21社の各拠点において、引き続き従業員の感染リスクの低減と安全確保を図りながら、お客様への供給責任を果たすべく事業活動を実施しております。

当第3四半期連結累計期間は、半導体などの部品供給の改善に加え、グローバルでの生産体制及び供給体制の強化に取り組んだ結果、サプライチェーンが改善されました。一方で、上期は自動車・産業機器用製品などの分野において顧客における需要が想定よりも堅調に推移しましたが、足下では上期で進んだ受注残の解消の影響や、顧客における在庫調整の影響、さらには中国市場の低迷の影響が出てきております。その結果、売上高は前年を若干上回る結果となりました。

利益面でも、上期での受注残の解消の影響や、顧客における在庫調整の影響、さらには中国市場の低迷の影響も出てきておりますが、原価低減活動、サプライチェーンの改善による物流費の削減、さらには材料価格上昇分への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,544百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は2,044百万円（同32.9%増）となり、経常利益は2,206百万円（同21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,633百万円（同38.6%増）となりました。

2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	17,825	18,817	5.6	733	1,159	58.0
欧米	7,725	9,507	23.1	92	212	129.2
アジア (日本を除く)	6,135	5,220	△ 14.9	728	697	△ 4.3
消去	—	—	—	△ 16	△ 24	—
合計	31,686	33,544	5.9	1,538	2,044	32.9

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当第3四半期連結累計期間は、半導体などの部品供給の改善に加え、グローバルでの生産体制及び供給体制の強化に取り組んだ結果、サプライチェーンが改善されました。一方で、上期は自動車・産業機器用製品などの分野において顧客における需要が想定よりも堅調に推移しましたが、足下では上期で進んだ受注残の解消の影響や、顧客における在庫調整の動きも出てきております。その結果、売上高は前年を若干上回る18,817百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

利益面でも、上期での受注残の解消の影響や、足下での顧客における在庫調整の影響も出てきておりますが、原価低減活動、サプライチェーンの改善による物流費の削減、さらには材料価格上昇分への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益は1,159百万円（前年同期比58.0%増）となりました。

②欧米

当第3四半期連結累計期間は、半導体不足による影響も緩和されたことに加え、北米における自動車産業での需要が回復傾向にあることや、欧州での空調用ハーネスの需要が好調に推移したことにより、売上高は9,507百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、サプライチェーンの改善による物流費の削減や、材料調達コストの増加への対応として、製品価格の改定に継続的に取り組んだ結果、営業利益は212百万円（前年同期比129.2%増）となりました。

一方で、足下では北米自動車産業での需要回復により、メキシコ工場での材料調達遅れによる生産性悪化の影響や、ペソ高による為替影響なども出てきております。

③アジア（日本を除く）

当第3四半期連結累計期間は、上期で進んだ受注残の解消の影響に加え、中国市場の低迷及び顧客における生産調整などにより、アジアでの売上高は5,220百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

利益面では、主に中国市場での売上高の減少に伴い、営業利益は697百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

また、中国市場の低迷の影響、日本・欧米での在庫調整の動きから、アジアにおける景気の回復は今後も遅れる懸念があります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、38,209百万円（前期末比1,334百万円増）となりました。主に、現金及び預金1,296百万円、棚卸資産680百万円及び有形固定資産835百万円が増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が1,664百万円減少いたしました。

<負債>

負債合計は、14,464百万円（前期末比1,224百万円減）となりました。主に、長期借入金が697百万円増加し、支払手形及び買掛金626百万円及び短期借入金1,936百万円が減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、23,744百万円（前期末比2,558百万円増）となりました。主に、利益剰余金1,417百万円及び為替換算調整勘定1,051百万円が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月2日において、2023年12月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,178,303	6,474,836
受取手形、売掛金及び契約資産	12,363,860	10,699,759
商品及び製品	2,873,417	3,316,179
仕掛品	1,322,884	1,069,567
原材料及び貯蔵品	4,951,926	5,442,994
その他	772,813	945,431
貸倒引当金	△5,725	△5,229
流動資産合計	27,457,481	27,943,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,103,794	2,635,913
機械装置及び運搬具（純額）	1,669,061	1,833,996
土地	1,919,115	2,075,698
建設仮勘定	49,194	60,266
その他（純額）	436,044	407,319
有形固定資産合計	6,177,210	7,013,194
無形固定資産	491,255	495,272
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,812,835	2,821,070
貸倒引当金	△64,097	△63,996
投資その他の資産合計	2,748,737	2,757,074
固定資産合計	9,417,203	10,265,541
資産合計	36,874,684	38,209,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,818,511	7,191,736
短期借入金	3,562,425	1,625,842
未払法人税等	171,698	333,105
賞与引当金	227,053	465,832
役員賞与引当金	38,760	36,000
製品改修引当金	3,418	3,418
その他	1,695,972	1,857,881
流動負債合計	13,517,839	11,513,816
固定負債		
長期借入金	944,309	1,641,646
繰延税金負債	419,840	416,126
退職給付に係る負債	524,502	577,906
その他	282,720	315,322
固定負債合計	2,171,372	2,951,001
負債合計	15,689,212	14,464,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,936,551	1,936,551
利益剰余金	13,740,088	15,157,868
自己株式	△160,472	△160,498
株主資本合計	17,839,226	19,256,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704,319	740,000
為替換算調整勘定	2,068,037	3,119,056
退職給付に係る調整累計額	△21,863	△16,608
その他の包括利益累計額合計	2,750,492	3,842,448
非支配株主持分	595,753	644,832
純資産合計	21,185,472	23,744,262
負債純資産合計	36,874,684	38,209,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	31,686,406	33,544,712
売上原価	26,026,342	27,022,742
売上総利益	5,660,063	6,521,969
販売費及び一般管理費	4,121,828	4,477,546
営業利益	1,538,234	2,044,423
営業外収益		
受取利息	22,894	28,875
受取配当金	31,550	37,800
持分法による投資利益	5,319	24,527
為替差益	173,314	82,580
補助金収入	25,887	—
助成金収入	14,241	15,373
その他	59,604	83,654
営業外収益合計	332,810	272,812
営業外費用		
支払利息	45,178	69,351
その他	12,560	41,130
営業外費用合計	57,739	110,481
経常利益	1,813,306	2,206,754
特別利益		
固定資産売却益	1,920	4,216
投資有価証券売却益	—	32,803
特別利益合計	1,920	37,019
特別損失		
固定資産処分損	4,500	1,191
感染症関連損失	39,885	—
関係会社清算損	229,509	—
本社移転費用	—	5,000
特別損失合計	273,896	6,191
税金等調整前四半期純利益	1,541,330	2,237,583
法人税、住民税及び事業税	307,448	713,541
法人税等調整額	△9,969	△96,171
法人税等合計	297,479	617,370
四半期純利益	1,243,850	1,620,212
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	65,082	△13,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178,768	1,633,780

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,243,850	1,620,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395,397	35,681
繰延ヘッジ損益	△2,518	—
為替換算調整勘定	1,997,803	1,116,385
退職給付に係る調整額	2,427	5,255
その他の包括利益合計	1,602,314	1,157,322
四半期包括利益	2,846,165	2,777,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,671,738	2,725,737
非支配株主に係る四半期包括利益	174,427	51,798

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社ブライトンについて、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	17,143,841	7,725,304	6,135,223	31,004,370
一定の期間にわたり移転される財	682,036	—	—	682,036
顧客との契約から生じる収益	17,825,877	7,725,304	6,135,223	31,686,406
外部顧客への売上高	17,825,877	7,725,304	6,135,223	31,686,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,862,098	67,982	6,450,871	10,380,952
合計	21,687,976	7,793,286	12,586,095	42,067,359
セグメント利益	733,556	92,611	728,480	1,554,649

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,554,649
セグメント間取引消去	△ 16,414
四半期連結損益計算書の営業利益	1,538,234

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	18,299,699	9,507,258	5,220,448	33,027,406
一定の期間にわたり移転される財	517,306	—	—	517,306
顧客との契約から生じる収益	18,817,005	9,507,258	5,220,448	33,544,712
外部顧客への売上高	18,817,005	9,507,258	5,220,448	33,544,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,681,705	32,368	6,072,482	9,786,556
合計	22,498,710	9,539,626	11,292,931	43,331,268
セグメント利益	1,159,290	212,300	697,421	2,069,012

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,069,012
セグメント間取引消去	△ 24,589
四半期連結損益計算書の営業利益	2,044,423

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。